

連合大会における学生優秀発表賞の開催について

【実施セッション】

2011年大会：固体地球科学，地球生命科学（2セッション）

2012年大会：大気海洋・環境科学，地球人間圏科学，固体地球科学，地球生命科学（4セッション）

【2011大会実施報告】

◆審査項目ガイドライン

※固体地球はこれに沿って実施・審査項目は公開，地球生命は非公開で実施

- (1) 視認性：スライド or ポスターの図表・デザイン・字の見易さ
- (2) 表現力：発声・説明（図の指し示し方など）の明瞭さ
- (3) 発表時間の有効活用
 - ・口頭：規定時間を超過・短縮終了していないか
 - ・ポスター：説明がコンパクトになされているか
- (4) 論理構成：論理は的確か・結論はデータにより支持されるか
- (5) 研究目的・結論の明瞭性：目的・結論が明瞭に示されているか
- (6) データ充実度：十分な量 and/or 質のデータが提示されているか
- (7) 既存研究の理解度：関連する既存研究は十分に参照されているか
- (8) 研究の独自性・発展性：研究の独創性・当該分野発展への貢献度
- (9) 学生の主体性：研究に主体的に関わっているか。質疑応答を自身で行っているか

◆審査対象

固体地球：主たるセッションが固体地球科学である学生の発表（高校生を含む）

地球生命：コンビーナ判断で関連セッションにて発表する学生（高校生は対象外）

◆募集・エントリー方法

固体地球：ウェブにて募集・エントリーフォームから入力

地球生命：コンビーナが募集

◆審査方法

固体地球：審査員を手配し，1人に数発表の審査を依頼，結果はフォームから送信してもらう

地球生命：コンビーナが行う

◆結果

固体地球：エントリー総数86，授賞数10

地球生命：授賞数2

【2012年大会での実施に向けて】

※審議事項

◆審査基準（項目）について

※連合としての学生賞の指針を確認する。

指針に直結する基準は共通として審査を行う。ただし、具体的審査方法等には自由度を設ける。

◆各セッションへのエントリー基準について

※複数領域に関わる発表のエントリー及び審査方法についてどのように扱えばよいのか。

（現在の各セッションでの受け入れ態勢）

大気海洋・環境	
地球生命圏	Hセッションの他は，U，Mセッションに限り内容を審議の上で受け付ける
固体地球	Sセッションでの発表に限らず，学生がエントリーを希望する場合は内容を審議の上で受け付ける（他セッション(P, A, H, B)での発表も内容によっては受け付ける）
地球生命	Bセッションでの発表に限る

※高校生のエントリーを受け付けるかどうか。

（現在の各セッションでの受け入れ態勢）

固体地球	大学生の発表とは別枠で賞を設ける（予定）
他3セッション	高校生は対象としない

→（高校生を対象とする場合）0-01 高校生によるポスター発表セッションで設けている賞との共存は？

※指導教官との連名の発表は受け付けるのか。

◆運営上の問題について

※エントリーのダブルブッキングを防ぐには

＝現状対策＝

・セッション割り振りの優先順位を明確にする

1. 原則的には発表セッションに対応したセッションにエントリーとする
2. U, Mセッションで発表する学生がエントリーを希望する場合は，受け入れ可能なセッションに限りメールでのエントリーセッション希望を受け付ける（内容がエントリー先セッションに対応していると判断されれば受け入れる）
3. 発表セッションとエントリーを希望するセッションが異なる場合には，他セッションの受け入れが可能なセッションに限りメールでのセッション変更希望を受け付ける（内容がエントリー先セッションの方に適していると判断されれば受け入れる）

変更が受諾されれば本来のセクションへのエントリーは取り消される

- ・今年度より全エントリーを事務局で一元管理できるので、学生とエントリー先が1対1の状態でご各セクションへ学生の発表情報を提供する